

令和8年2月8日執行

神奈川県第17区選挙区(小田原市、秦野市、南足柄市、中郡(二宮町)、足柄上郡、足柄下郡)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

5期13年の経験のもと 地元と国をつないできたこと



YouTube
@MakishimaOffice

地元の声を国に届けてきました。ご相談には共に解決方法を考え、支援メニューなどお示しし、必要な予算を確保する。地元の代弁者として「結果を出す」ことにこだわってきました。

Q 災害や台風、火山への備えは大丈夫？

- ① 小田原から二宮に続く西湘海岸は国直轄の事業であり予算を獲得。酒匂川の防災対策、くず川の改修整備、大涌谷の対応と継続して進めてきました。通学路の危険な木の伐採、農地・茶園や新善波トンネルの復旧にも尽力！



Q 地域の医療、福祉、介護が心配。

- ① 小田原市立病院が新しくなります。足柄上病院含め県西地域全体の体制強化を進めています。国民皆保険制度、介護制度が健康で長生きの基礎。物価高対策として医療現場への予算措置、介護従事者の賃上げも実現！分娩施設の存続にも取り組みます。

Q こどもがすすすく育つ学校であってほしい。

- ① 「個別最適化の学び」を推進。「得意分野を伸ばし苦手を克服する」ことに着目した指標を地元の小学校にも。トイレの洋式化、避難所にもなる体育館のエアコン設置は必須です。予算確保と、地元秦野の工場で作られる最先端で低コストの機材を推奨しています。

牧島かれん
プロフィール

2012年に初当選を果たし、5期を重ねる。第2代デジタル大臣(行政・規制改革も担当) 元内閣府大臣政務官(地方創生、金融、防災担当)、博士(行政学)、狩猟(わな)免許、野菜ソムリエ、防災士、温泉ソムリエ ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

まじめに頑張る人が、むくわれる社会をつくる。

～イノシシから宇宙まで～



まきしま
牧島かれん
自民党公認

いま、誠実に生きる人が「息苦しさ」を感じる社会になっていないでしょうか。「こんなに頑張っているのに、なんで楽にならないのかな」と感じてしまう。そんな現状を、私は政治の力で変えたい。私は政治家になることを目標とはしていません。政治家という立場は、「困った」を解決するための「道具」です。解決策を届けるといふ具体的に地道な活動を積み重ねます。

●「検討します」では、まちは守れない

地元選出の与党議員として、昨年の補正予算では、台風被害を受けた西湘海岸の保全に4億7700万円、長年の悲願である国道246号バイパス整備に5億4000万円の予算を確保しました。これが、地域を守るといふことです。

●地域の「守り人」がむくわれるために

消防団、民生委員、保護司、福祉や防犯、地域のボランティア、伝統文化の継承者など。この地域は、働きながら地元のためにもう一つの役目を果たしている「かっこいい大人たち」によって支えられています。

●忙しい人に負担を増やさない「やさしいデジタル」

デジタル大臣としての経験を活かし、申請しなくてもすぐに給付が届く(プッシュ型給付)ような、きめ細かい仕組みの構築を急いでいます。デジタルは冷たいものではありません。頑張るみなさんの貴重な時間を奪わないための「やさしさの技術」であり、備えです。

外交は私の専門分野のひとつです。安全保障においては、経済安保のほか、宇宙、サイバー、電磁波、認知領域を守ります。

「まじめな頑張り」が、まっすぐにむくわれる明日へ。
牧島かれんは、ともに走り続けます。



「対決より解決」「もっと」手取りを増やす！ で日本を動かす

実現した政策

臨時国会における国民民主党の主な成果

- 「年収の壁」178万円の引き上げ
- ガソリン暫定税率の2025年内の廃止
- 高校生の扶養控除の維持
- 自動車税の環境性能割の廃止
- 大胆な設備投資減税の導入
- 自賠責保険料約6,000億円的一般会計からの繰戻し

プロフィール

- 神奈川県在住。家族は妻、4歳の娘、猫2匹。
- 東京大学経済学部経営学科卒、スウェーデン王立工科大学(KTH)留学
- 消費財メーカー、広告会社、総合娯楽会社にマーケティングや新規事業立ち上げを担当。
- 仕事で3度鬱病を経験するも復活し、100名規模の事業部の副部長にまで昇進。独立後は個人事業主として、その知見を伝える研修を30社3000名以上に提供。
- 趣味はバスケット、サッカー、漫画、ピアノ

「もっと」社会保険料を軽減

- ・還付制度の創設で現役世代の社会保険料負担を軽減
- ・「130万円の壁突破助成金」を創設し、働き控えを解消
- ・賃上げを行う中小、零細企業の事業主の社会保険料半減
- ・後期高齢者医療の原則2割負担、医療給付を適正化
- ・公的保険の給付範囲見直しと後期高齢者医療制度への公費投入増
- ・「教育国債」発行で、いわゆる「独身税」廃止

「もっと」減税(残された「壁」を乗り越える)

- ・住民税の控除額「110万円の壁」を178万円まで引き上げ
- ・所得税の基礎控除の所得制限撤廃(665万円、850万円の壁)
- ・障がい福祉の所得制限撤廃
- ・年少扶養控除の復活、高校生の扶養控除維持
- ・消費税を一律5%に減税、インボイスは廃止
- ・自動車の電動化を踏まえた「自動車税、自動車重量税」軽減

「もっと」生活コストを安く

- ・ガス、水道、灯油、重油、航空機燃料等の通年値下げ
- ・電気代値下げ(再エネ賦課金(2万円程度/年)を廃止)

「もっと」住宅を安く手頃に

- ・中低所得者向けの家賃控除制度を創設
- ・空き家、公営住宅等を活用して、低家賃、低価格住宅を子育て世帯や若者、単身高齢者に供給
- ・空室税や短期売買規制強化で投資目的の値上りを抑制し、現役世代が手頃な価格で購入、賃貸できるように

成長戦略「新・三本の矢」GDP1000兆円

- ・減税、社会保険料負担軽減し、人手不足解消
- ・戦略、成長分野等への「ハイパー償却税制」導入、適正取引の拡大等で中小企業の黒字転換を後押し
- ・「教育国債(5兆円/年)」で、教育・科学技術予算倍増

人づくりこそ、国づくり

- ・年5兆円の「教育国債」発行で子育て・教育・科学技術予算を倍増
- ・3歳から義務教育化で待機児童ゼロ
- ・給食代、教材費、修学旅行費等を含む高校までの教育費完全無償化
- ・子育て、教育、障がい福祉、奨学金の所得制限撤廃、年少扶養控除復活

国民民主党の政策をさらに詳しく！



地域経済を元気に。
頑張る人が報われる社会へ。



国民民主党公認
中村太一
37歳

比例区は 中道改革連合へ 佐々木ナオミのプロフィール

障がいのある両親のもと小田原に生まれる。国府津小学校・中学校、県立西湘高校を経て、和光大学卒。教員免許を取得し大手学習塾に就職、その後独立。働きながら二人の子どもを育てる中、子育ての苦しさや社会構造の問題であることに気付く。37歳で子育て中のお母さん議員として小田原市議に初当選。3期12年務めたのち、2021年神奈川県西地域初の女性県議に当選。

2024年10月衆議院議員初当選！
自由をこよなく愛し、「理不尽は許さない！」がモットー。



こちら
佐々木ナオミの
最新情報

公式webサイト

多様性の尊重・共生社会

多様性で、社会を強く、豊かに。女性、子ども、高齢者、障がいのある方、外国にルーツのある方、多様性を持つ方。どんなパーソナリティを持つ方も、自分らしい生き方を選べる社会を作る。選択的夫婦別姓制度や同性婚の実現をめざします。

平和・外交

～二度と戦争をしないために～

日本は二度と戦争をしないとの決意のもとで戦後、平和国家の道を歩んできました。防衛費のみを突出させる政府の方針は平和を脅かします。平和外交こそ強化しなければなりません。

教育こそ社会の土台

未来を担う子どもたちに質の高い教育と、豊かな時間を保障します。安心できる公教育をつくる。先生が子どもたちと向き合えるゆとりを。子どもと先生をサポートする人たちが安心できる働き方を。多様な学びの保障にも取り組みます。

暮らし、いのち、子どもたちの未来を真ん中に！
地元生まれ・地元育ち・地元密着

物価高とたたかう

勤労者や医療や福祉、介護、教育といった社会を支える人たちへの給与を低く抑え続けてきたのが日本停滞の原因です。通貨の信用をとりもどし、円安に歯止めをかけなければなりません。物価高を上回る賃金上昇を実現する経済を取り戻します。

災害とたたかう

豊かな自然に恵まれた県西地域は、だからこそ、自然災害と隣り合わせ。特に、林野火災は、山林が多い県西地域でも起きています。被害にあった河川や海岸、法面の崩落などの減災対策のため、日常のインフラ整備強化と、土木作業員の処遇を改善します。

農業・エネルギー

農業とエネルギーの地産地消をもっと推進します。大規模法人への農地集約支援、条件不利地には直接支払いによる小規模家族農業への支援。大規模なソーラーパネル設置は抑制し、屋根置き太陽光発電や農業と共存するソーラーシェアリングを推進します。



中道改革連合公認
佐々木ナオミ



投票日
令和8年

2/8 (日)

【投票時間】
午前7時から
午後8時まで

衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

仕事や旅行などで投票日に投票に行けない方は
「期日前投票制度」をご利用ください。

投票日に投票所に行くことができない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。
なお、投票所入場券がお手元に届く前でも、選挙人名簿に登録されていることが確認できれば、投票することができます。
また、18歳から投票することができます。18歳未満のお子様も一緒に投票所に入場することができますので、ご家族で投票所にお出かけください。

- ◎ 衆議院小選挙区選出議員選挙
投票用紙（あさぎ色）には、候補者1人の氏名を記入します。
- ◎ 衆議院比例代表選出議員選挙
投票用紙（ピンク色）には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。
- ◎ 最高裁判所裁判官国民審査
投票用紙（うぐいす色）には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。
やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。

【身体に重度の障害のある方や要介護5の方（郵便等投票）】
右の表に掲げる一定要件にあてはまる方は事前に「郵便等投票証明書」の交付を受けた上で、自宅等で投票することができます（この方法は、郵便等による送付が必要です）。
制度の詳細については市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

| 身体障害者手帳に記載してある障害の程度 | 障害名 | 障害の程度 |
|---------------------|-----------------------------|-----------|
| | 両下肢、体幹、移動機能の障害 | 1級・2級 |
| | 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害 | 1級・3級 |
| 戦傷病者手帳に記載してある障害の程度 | 免疫、肝臓の障害 | 1級・2級・3級 |
| | 障害名 | 障害の程度 |
| | 両下肢、体幹の障害 | 特別項症～第2項症 |
| | 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓の障害 | 特別項症～第3項症 |

| 介護保険の被保険者証 | 要介護の状態区分 |
|------------|----------|
| | 要介護5 |

衆議院議員総選挙
特設ホームページ
はこちら

